

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	2	学校名	静岡視覚特別支援学校	校長名	服部 匠子
------	---	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像 校訓 「明るく 強く」

(1) 教育目標 「自立と社会参加を目指し、可能性を広げる」

- 興味を持ち、夢や目標に向かって主体的に知識・技能・週間を身につける。(確かな学力)
- 自他を尊重し、コミュニケーションをとって行動できる態度を身につける。(豊かな心)
- 生活のリズムを身に付け、運動に親しみ、健康でたくましい体をつくる。(健やかな体)

(2) 目標具現化の柱

- 【 育む 】 一人一人に応じた、基礎的・基本的な知識・技能及び習慣を育む。
- 【 守る 】 安全安心で生き生きと生活できる豊かな学習環境を整える。
- 【 つながる 】 視覚障害教育の情報発信の充実を図ると共に、校内外の連携協働体制を整備する。

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

『 誰もが認め合い、喜び合い、そして、成長し合う学校 』

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
【育む】	○幼児児童生徒一人一人に応じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCA (P:教材研究、D:授業公開、C:事後研、A:改善策) サイクルに基づいた授業づくりにつながる研修の推進</li> <li>・事後研修への参加推進と振り返り (研修会やアンケート) の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が、個の実態を的確に捉え、学習指導要領や教育要領を踏まえた目標設定のもと教育実践ができた。</li> <li>・幼児児童生徒、教職員が共に学習評価を通じて確かな学びや成長を実感することができた。</li> </ul>	研修課
	○教職員の専門性維持・発展と新しいことへの挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに応じた研修会の立案・運営、情報提供</li> <li>・校内相談窓口の明確化</li> <li>・外部専門家の人材活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害教育や新しい知識を学び、教職員一人一人が成長することができた。</li> </ul>	自立活動課
	○幼児児童生徒や保護者が将来の夢や希望を持てるキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部ごとに「キャリア教育」について、教員や保護者が学ぶ機会を実施</li> <li>・幼児児童生徒が担任と一緒に「キャリアパスポート」の作成と振り返りを学期ごと実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が、幼児児童生徒の成長に応じたキャリア教育推進を実践できた。</li> <li>・幼児児童生徒が、自身の成長を実感し、保護者と共に今と将来について考えることができた。</li> </ul>	キャリア担当 各学部 寄宿舎
	○生涯にわたって健やかに生きるための健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたってスポーツや運動に親しめるよう運動する機会や保健体育の授業の推進</li> <li>・食への興味を広げる食育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児児童生徒が、自らの健康に関心をもち、健康で豊かな学校生活を送ることができた。</li> </ul>	保健体育課

【守る】	○幼児児童生徒の個性を尊重し、互いの良さを認め合うウェルビーイングの高い学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の人権研修会や人権感覚チェックを定期的に実施</li> <li>・人権教育年間計画を生かし、幼児児童生徒への人権教育を推進</li> <li>・情報モラルに関する研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が、人権感覚を高め、自他を尊重した指導や対応ができた。</li> <li>・幼児児童生徒が自分と他者を思いやる行動をとることができた。</li> </ul>	<p>生徒指導防災課</p> <p>教務図書情報課</p>
	○幼児児童生徒が安全で安心して生き生きと活動できる環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの情報共有と対策の徹底</li> <li>・視覚障害に配慮した環境整備を行うための、校内環境研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が、安全安心な教育活動を行うために必要な学習環境や生活環境を整えることができた。</li> </ul>	保健体育課
	○危機管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルを活用した訓練や研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が事故等の未然防止や緊急時の対応力を高め行動することができた。</li> </ul>	生徒指導防災課
【つながる】	○超早期から成人まで切れ目のない連携支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児から成人までどの段階においても、相談者のニーズを的確に把握した対応</li> <li>・相談者のニーズに応じた校内の教職員の積極的な活用</li> <li>・地域の関係機関と連携した支援活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、視覚障害者に関わる関係機関と連携し、組織的な対応や支援ができた。</li> </ul>	<p>支援連携 各学部 寄宿舎 特別支援 コーディネーター</p>
	○チームで業務に取り組む効果的で心理的安全性の高い環境の維持向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が役割と目的を理解して取り組む教育活動の推進</li> <li>・学校の一員として、目標を意識する機会の設定</li> <li>・自他の多様性を尊重し、風通しの良い環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が学校・学部・分掌等の目標を共有し、協働しながら業務に取り組むことができた。</li> <li>・教職員一人一人がチームの一員としての所属感を持ち、やりがいを感じて業務に取り組むことができた。</li> </ul>	<p>各学部 寄宿舎 事務部 職員安全衛生委員会</p>
	○地域や家庭、関係機関との連携・協働体制による地域ぐるみの教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の取組の発信と、情報提供</li> <li>・関係機関や地域の施設との連携</li> <li>・地域の人材や多様な他者と関わる学習活動の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児児童生徒が地域や関係機関等で学ぶ機会が充実し、知識や経験を広げることができた。</li> <li>・互いの良さに気づく活動を実施することができた。</li> </ul>	<p>支援連携 教務図書情報課 各学部 寄宿舎 特別支援 コーディネーター</p>
	○新校開校を見据えた教育の充実と包括的な共生を意識した学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的に共生するための研修や情報共有等の推進</li> <li>・関係機関との協働による計画の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員を中心に、幼児児童生徒や保護者、地域の方等が、新校開校に向けてよりよい意見を出し、設置準備に取り組めた。</li> </ul>	<p>静岡地区新特別支援学校準備委員会 企画会 事務部 学校運営協議会</p>